



美都



中庭のハナミズキが満開！花言葉は「返礼」。

先生方の思いを受け止めました

4月15日（月）、退任式が行われました。年度末の人事異動により、御津南部小学校を去られた原田宏一教頭先生、杉浦良隆先生、工藤直敬先生、大島留実先生、榎本萌子先生、石場優一先生をお迎えし、退任式を行いました。

式では、校長先生より、退任される先生の紹介があった後、6人の先生からお一人ずつお話をいただきました。みなさんとのすてきな思い出や成長したみなさんへのメッセージなど、たくさんのお話をいただきました。子どもたちからは、お礼の作文や、花束、感謝の気持ちを込めた校歌をプレゼントしました。先生方の御津南部小学校への思いがあふれ、その思いをしっかりと受け止めていた子どもたちとの、心温まる退任式となりました。



先生方からの心温まるメッセージ<金言>を紹介します。

原田先生 知るということを大事にしてほしい。知っているとは特別なものになる

杉浦先生 御津南のみんなは、まわりの人を幸せにするパワーを持っている

工藤先生 一人で頑張るより、みんなで力を合わせると大きな力になる 難が来てもありがたく思う

大島先生 小さなことをコツコツと。失敗を恐れない。自分も仲間も大事。愛と勇気と希望を

榎本先生 そこがゴールではない、その先に夢がある。みんなの顔も一つ一つ違って輝いている

石場先生 みんなの優しさが好き。君たちの一生懸命でがんばってほしい。

認証式がありました

全員で一步を踏み出そう！ 希望を語ろう！



4月19日（金）の全校集会で、児童会役員、委員長、学級委員の認証式がありました。代表して、児童会長の鎌原幸穂さんが、「もっと素敵なお学校になるように、できることを考えて、全力でがんばるので、協力をお願いします。全校が一つになりましょう」と、学校にける思いを述べました。



今回、認証状を受け取った人は、学校のため、学級のために、自分で一步を踏み出した人たちです。素晴らしいことです。でも、学校をよくしていくには、一部の人ががんばるだけではいけません。一人が100歩進んでも、大きな力にはなりません。南部小学校の全員が一步進むことが大切です。校長先生は、いつもみなさんに、「一人の100歩より、100人の一步」が大事だと言ってきました。

でも、一步を踏み出すことはたいへん難しいことです。一步を踏み出せる人と、一步を踏み出せない人がいます。どこが違うのでしょうか。一步を踏み出せる人は、「希望」を語ります。「次はこうしよう」「これからはあれに挑戦しよう」「がんばればできるかもしれない」「これから楽しみだなあ」そんな言葉を使います。反対に一步を踏み出せない人は、「不満」を語ります。「なんでそうなるの」「もっとこうしてよ」「やりたくないよ」「どうせできないし」「やってもつまらんし」そんな言葉をよく使っています。

始業式の日「心のスイッチ」の話をしました。スイッチが入ったら、次は、一步を踏み出しましょう。大事なものは、一人の100歩より、100人の一步です。希望を語り、一步を踏み出し、ここにいる全員で、素晴らしい御津南部小学校をつくりましょう。



1年生 はじめての給食

4月16日（火）、1年生は初めての給食でした。1年生の子たちは、朝から、楽しみにしている様子でした。給食を食べるために、当番の子が、給食室まで給食を取りに行き、協力して配膳をしました。当番以外の子は、席で静かに待っていました。みんな、先生から教えてもらったことを一生懸命に取り組んでいました。記念すべき小学校初給食は、パン、牛乳、春キャベツのスープ、ミートボール、フルーツカクテルでした。みんな笑顔で食べました。



授業参観、PTA総会にご参会いただきありがとうございました。明日からの家庭訪問もよろしく願いいたします。時間の都合をつけていただき、ありがとうございます。お子様の学校での様子やご家庭での様子について、担任とお話するよい機会です。学校へのお願いや心配事などありましたら気軽にお伝えください。